

3 自然環境に関わる状況～生態系から受ける恩恵

科学技術が進歩した現代においても、我々の生存に不可欠な空気や水、食料は、自然の営みによって生み出されています。その自然の営みを支えているのが、多種多様な生物から構成されている生態系です。豊かな生態系を維持するためには、森林・農地・海浜・河川が健全に維持されていなければなりません。そのためには水・空気・土を保全する取り組みが必要です。水質や大気質について、従来は生活に関わる問題として捉えていましたが、今般の環境基本計画では、自然や生態系に関わる問題として取り組みます。

また、生物資源の経済的価値は、計り知れないものがあり、自然保護は実利を伴った問題として捉えていく必要があります。酒田市は、豊かな自然に恵まれています。地元の自然を愛し、恵みを感じるための取り組みを進めていきます。

酒田市の生きもの

新井田川本線魚類等生息調査結果

		年度	平成 17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	26年
		調査回数	1回	1回	1回	1回	2回	2回	2回	2回
魚 類	コイ科	オイカワ	●				●			●
		ウグイ	●	●	●					●
		ウケクチウグイ						●		
		マルタウグイ					●	●		
		ニゴイ	●	●	●	●	●	●	●	●
		コイ		●	●	●	●	●	●	●
		ゲンゴロウブナ	●	●					●	
		ギンブナ		●				●	●	
		フナ類			●	●	●	●		●
	ドジョウ科	ドジョウ						●	●	
	ナマズ科	ナマズ		●		●	●	●		
	ボラ科	ボラ	●	●	●	●		●		●
		メナダ	●	●	●		●	●	●	●
	スズキ科	スズキ			●	●	●	●		●
	ハゼ科	アシシロハゼ						●		
		ヌマチチブ					●	●		●
		ハゼ	●	●	●	●	●	●		●
		シマウキゴリ							●	●
スミウキゴリ									●	
アシシロハゼ							●		●	
甲 殻 類	イワガニ科	モクズガニ		●		●	●	●	●	●
	ヌマエビ科	ヌマエビ								●
計			7	10	8	8	11	15	9	15

資料：酒田市

新井田川水系は、新井田川、幸福川、寺田川、境川、平田川、豊川の6河川から構成されています。流路延長は、約35キロメートルで、ほぼ落差の無い緩やかな流れになっています。

生息種としては、「フナ類」「コイ」「ナマズ」などが、従来から確認されていますが、今回の調査では「スミウキゴリ」「ヌマエビ」が新たに確認されています。

小牧川魚類等生息調査結果

		年度	平成 17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	26年	
		調査回数	5	9	8	6	7	6	6	6	
魚 類	ヤツメウナギ科	カワヤツメアンモシーテ ス幼生	●	●	●	●		●	●		
		スナヤツメ南方系アン モシーテス幼生				●				●	
	アユ科	アユ		●		●	●	●	●	●	
	サケ科	サケ									●
		サクラマス		●	●						
	コイ科	オイカワ		●		●	●	●	●	●	●
		ウグイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		ウケクチウグイ				●					
		アブラハヤ		●			●				
		タモロコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		モツゴ		●	●	●	●	●	●		
		ビワヒガイ	●	●	●				●		●
		カマツカ				●	●			●	●
		ニゴイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		コイ		●			●	●	●	●	●
		ゲンゴロウブナ		●		●					
		ギンブナ	●	●	●	●	●	●	●	●	
		フナ類									●
		タイリクバラタナゴ	●	●	●	●	●	●	●		
	ヤリタナゴ						●				
	ドジョウ科	ドジョウ		●	●	●	●	●	●	●	●
		シマドジョウ				●					
	ナマズ科	ナマズ	●	●	●	●	●	●	●		
	ギギ科	ギギ		●	●		●	●			
	メダカ科	メダカ			●	●		●			
	ボラ科	ボラ	●		●		●				
		メナダ		●	●	●	●	●	●	●	
	スズキ科	スズキ				●	●	●		●	
サンフィッシュ 科	オオクチバス							●		●	
	ブルーギル		●	●							

		年度	平成 17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	26年
魚類	ハゼ科	トウヨシノボリ			●	●	●	●		
		ヨシノボリ					●			
		ヌマチチブ					●	●	●	●
		ビリンゴ	●	●	●	●				
		シマウキゴリ		●	●	●	●	●	●	●
		スミウキゴリ				●				
		ハゼ	●	●	●	●	●	●	●	●
		アシシロハゼ			●	●				
	カジカ科	アユカケ					●	●		
	カレイ科	ヌマガレイ					●		●	●
ニシン科	コハダ			●						
甲殻類	イワガニ科	モクズガニ	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヌマエビ科	ヌマエビ	●		●					
	テナガエビ科	スジエビ			●					
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ			●					●
貝類	イシガイ科	マツカサガイ	●		●	●				
		ヨコハマシジラガイ				●		●	●	●
		ドブガイ	●	●	●	●	●	●	●	●
	タニシ科	マルタニシ	●	●	●	●	●	●	●	
	シジミ科	マシジミ	●	●	●	●	●	●	●	
	モノアラガイ科	モノアラガイ		●						
	カワニナ科	カワニナ	●	●	●	●	●	●	●	●
計		18	28	31	32	30	29	22	23	

資料：酒田市

小牧川は、流路延長約3キロメートルで、水深は浅く冬期間の水量低下が著しい河川です。河川のほぼ全域で両岸及び川底がコンクリートで護岸されており、両岸に堆積した砂泥や、護岸されていない一部の川底が魚類等の生息環境となっています。

酒田本港からの遡上や最上川からの流下によって、特殊な生態系となっており、「マシジミ」が生息していることから、湧水が存在しているほか、重要種である「スナヤツメ」「カワヤツメ」も確認されています。

文献調査結果（概要）

酒田市の生物について記述された文献の調査を行いました。

		確認種数	うち重要な種
植物		161 科 1,899 種	300 種
動物	哺乳類	7 目 15 科 31 種	12 種
	鳥類	22 目 70 科 380 種	113 種
	両生類	2 目 6 科 15 種	8 種
	爬虫類	1 目 5 科 10 種	3 種
	陸上昆虫類	26 目 321 科 3,082 種	121 種
	魚類	13 目 42 科 106 種	31 種
	陸上昆虫類以外の無脊椎動物	33 目 71 科 118 種	26 種

資料：酒田市

植生においては、日本海要素の植物を中心としつつ、高山植物から暖地系、海浜植物まで多様な種がみられることが酒田市の特徴となっています。

酒田市の土地利用状況の変化

単位:km² (各年1月1日)

区分	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
総面積	602.74	602.79	602.79	602.79	602.79
田	106.28	106.08	105.90	105.68	105.68
畑	22.32	22.20	22.06	21.78	21.78
宅地	28.37	28.41	28.45	28.46	28.46
山林	331.38	378.94	379.73	380.62	380.62
原野	19.74	18.92	18.27	17.95	17.95
雑種地	6.42	6.48	6.50	6.53	6.53
その他	88.23	41.76	41.88	41.77	41.77
区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	
総面積	602.79	602.79	602.79	602.79	100%
田	105.67	105.64	105.34	105.30	17.5%
畑	21.65	21.64	21.00	20.99	3.5%
宅地	28.50	28.56	28.59	28.61	4.7%
山林	380.71	380.60	380.48	380.47	63.1%
原野	17.78	17.15	17.11	17.10	2.8%
雑種地	6.55	6.57	6.57	6.58	1.1%
その他	41.93	42.64	43.70	43.74	7.3%

資料：酒田市

近年、その構成に大きな変化はなく、森林が最も多く全市の63.1%を占めています。次いで田及び畑が合わせて21.0%となっています。